

ベトナム・ホーチミン経済視察実施報告書

～第7回和橋世界大会 ASIA VENTURES SUMMIT～

東京NBC 国際ビジネス委員会 海外視察 2015

主催 一般社団法人 東京ニュービジネス協議会 国際ビジネス委員会
公益社団法人 日本ニュービジネス協議会連合会
2015/11/21～11/24

目次

- I 参加者名簿
- II 期間
- III 渡航費用
- IV ミッションの目的
- V 視察内容
- VI 成果報告
 - 1、視察レポート
 - 2、ベトナム概要

以下のとおりベトナム・ホーチミン経済視察の報告を致します。

I 参加者名簿 11名＋事務局1名 計12名 (以下、敬称略)

	御名前	NBC御役職	会社名
1	池田弘	JNB / 会長	NSGグループ
2	加藤雄一	JNB / 副会長	株式会社アドパネクス
3	小野兼資	香川NBC / 会長	小野株式会社
4	深沢栄治	東京NBC / 副会長	株式会社光彩工芸
5	辰野元信	東京NBC / 理事 / 国際ビジネス委員会委員長	サリカ株式会社
6	秋元義彦	東京NBC / 理事	株式会社パン・アキモト
7	山本修義	東京NBC / 国際ビジネス委員会副委員長	株式会社M`S club
8	牧浦秀紀	新潟NBC	株式会社NSGインターナショナル
9	Bui Thi Thanh Ha ブイ ティ タン ハー	-	株式会社NSGインターナショナル
10	大塚敏充	ゲスト	株式会社TRIPLAK(トリプラック)
11	小野兼一	香川NBC / 小野会長御子息	小野株式会社
12	小池まりあ	東京NBC	NSGグループ
13	中澤健太郎	東京NBC 事務局	東京NBC

II 期間 2015年11月21日(土) ～ 11月24日(火)

III 渡航費 ひとり 238,080円

(※2名一室利用の基本料金。シングル利用やグレードアップは別途料金)

◎日程 2015年11月21日(土)～11月24日(火)

※21日深夜便で出発、24日早朝に帰国

◎参加費用：概算 238,080円※1(最少催行人員10名)

【※1】ホテル2泊分(3日目レイトチェックアウト)、食事代(行程表記載)、飛行機代(羽田空港～タンソンニャット空港間のエコノミークラス利用航空運賃、空港～ホテル間往復専用車及び送迎費用、現地日本語ガイド費用代、和僑世界大会参加費用、行程表記載の食事代が含まれております。

【オプショナル】お一人でお部屋を利用される場合は、別途追加料金が発生いたします。

(お一人様部屋利用16,000円)

【※2】費用には和僑世界大会参加費が含まれています

◎ご旅行条件

ご利用予定航空会社：JAL(日本航空)

※ビジネスクラス希望の方は別途問い合わせください。

ご利用予定ホテル：2泊(ホーチミンニューワールドサイゴンホテル)

添乗員：同行しません。

食 事：朝2回 昼3回 夕3回

★ご注意点

・キャンセルの場合、30日前から20%のキャンセルチャージが発生します。

・ベトナム入国時1ヶ月及び滞在日数以上のパスポートの残存期間が必要です。

日次	月日	現地時間	場所	交通機関	スケジュール	食事
1	11/20 (金)	23:30	東京(羽田空港)集合		団体カウンターへご集合お願いいたします。	
2	11/21 (土)	1:30	東京(羽田空港)発	JL079	直行便利利用(6:20)にてホーチミンへ	朝：機内
		5:50	ホーチミン着	専用車	入国後観光と昼食。その後ホテルへ 夕方、夕食を兼ねた決起会 <ニューワールドサイゴンホテル>	昼：○ 夕：○
3	11/22 (日)	8:00	ホテル発	専用車	和僑世界大会開会式(ホーチミンGEM CENTER) 講演会 パネルディスカッション 昼食 講演会 大交流会 終了後、ホテルへ <ニューワールドサイゴンホテル>	朝：HTL
		8:30 9:00 10:15 12:30 14:00 18:30 21:00				昼：○ 夕：○
4	11/23 (月)	8:00	ホテル発		午前 視察 Saigon Washin Engine co.,Ltd.(株式会社和心 現地法人) ベトナムワークス 午後一度ホテルへ(18:00チェックアウト)	朝：HTL 昼：○
		23:45	ホーチミン発	JL070	夕食後 空港へ 直行便利利用(5:10)で羽田空港へ <機中泊>	夕：○
5	11/24 (火)	6:55	東京(羽田空港)着		着後、解散	

IV ミッションの目的

1975年の南北ベトナム統一後、ベトナムで最も重要な経済拠点ホーチミン。今回の視察では、2011年に友好協定を結んだ「和橋会」が主催する第7回和橋世界大会への参加、並びに現地法人企業を訪問することで当地の生の情報を聞き、今後、NBC会員企業が海外進出する際の情報提供及び人脈作りを目的とする。

V 視察内容

1日目 ベトナム・ホーチミン視察ツアー決起会

2日目 和橋世界大会

和橋会幹部との合同会議

大交流会

3日目 Saigon Washin Engine co.ltd.ベトナムワークス視察

VI 成果報告

一般社団法人東京ニュービジネス協議会と公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会は、ベトナム・ホーチミン視察ツアーを通して数々の実りを得た。

1. 多くの方々と交流、情報・意見交換ができこと、
2. ベトナム・ホーチミンの経済状況は勿論、和橋会メンバーからASEAN各国の現状や体験談など、机上の理論ではない生の声を聞くことができたこと
3. 現地人材派遣業とのミーティングでは、NBC会員がベトナム進出する際には、全面的にご協力頂ける旨の確約を得ることができたこと
4. 今後、NBC会員が、海外進出や海外情報収集、或は海外交流を希望する際、事務局を通して各和橋会や現地企業を紹介することが可能となったこと。

尚、次からの「視察レポート」で、詳細について記す。

1、視察レポート

11月21日（土）

「高級ベトナム料理 PHO CO」にてツアー決起会を実施



11月22日（日）

「第7回和橋世界大会」に参加（場所：GEM CENTER）



【開会挨拶 和橋総会会長 荻野正明氏】



和橋総会会長、荻野正明氏による挨拶からスタート。同会の理念である「和をもって尊し」の行動基準は助け合い、つまり「互助会」であることを再認識した。

香港和橋会では下記の企業支援を実施しており、テスト段階を経て各和橋会に広めていきたいと考えていること。

1. 起業塾（心構え、準備等を塾型式でセミナー）
2. 起業相談室
3. 和橋キャピタル（資金の一部を負担 資本金最大 49%）
4. 経営相談室

和橋会もゆっくりではあるが進化している、と述べられた。

【来賓へ花束贈呈 ホーチミン和橋会代表 徳嶺勝信氏より】



在ホーチミン日本国 総領事 中嶋敏氏
ホーチミン市共産党常任副書記ボーワントゥン氏
ホーチミン市共産党幹部委員会兼ホーチミン市経済産業省局長レイヴァンポア氏
日本貿易振興機構 JETRO ホーチミン市 安栖宏隆氏
ヴィンググループ CEO ゴーンティエーホワ氏
ヴィンググループ ドウミン氏

【来賓挨拶 在ホーチミン日本国 総領事 中嶋敏氏】



第 7 回和僑世界大会開会の祝辞と、ベトナム経済の現状をお話頂いた。安定した経済成長率（ベトナム 6%、ホーチミン 9%）が続いており経済発展が促進している。日本企業は 1300 社以上進出しており、更なるグローバル企業が生まれることを期待すること。その後、ホーチミン市共産党幹部委員会兼ホーチミン市経済産業省局長レイヴァンポア氏からも祝辞を頂戴した。

【激励 株式会社てっぺん代表取締役社長 日本朝礼協会会長 大嶋啓介氏】



本気の朝礼を行い、会の激励を行った。

【基調講演 株式会社ドリームインキュベーター代表取締役会長 堀紘一氏】



「アジアの中での日本の成長戦略」と題し、ドリームインキュベーターの堀氏より講演頂いた。同社は、2000年よりスタートした中小企業を対象にしたコンサル会社。同氏の経験から得た、ベンチャー成功の秘訣をお話頂いた。

成功の秘訣1、なにかあった時に相談できる、ディスカッションパートナーをつくること
成功の秘訣2、いい本を読むこと（大事なものは学歴ではなく、学習歴である）

【パネルディスカッション 和僑会各エリアの代表による ASEAN 各国市場の最新事情】



（登壇者）

プノンペン和僑会代表、HUGS 代表 黒川治郎氏

タイ王国和僑会代表、PERSONAL CONSULTANT MANPOWER 代表 小田原靖氏

ミャンマー和僑会代表、MYANMAR JAPON Co.,Ltd 代表 永杉豊氏

ホーチミン和僑会、EVOLABLE ASIA Co.,Ltd 代表 薛悠司氏

（モデレーター）

シンガポール和僑会代表 Vivid Creations Pte Ltd 齋藤真帆氏

経済発展目覚しい ASEAN で活躍する登壇者に下記の内容についてディスカッションして頂いた。

何故、今の国を選んだか、苦勞したこと、外国で起業すること、そして現地の人と一緒に仕事をする上で気をつけていること、最低賃金の状況、各国の魅力など細かく、そして幅広くお話頂いた。

各位に共通していることは、

- ①理想と現実のギャップにご苦労されたとのこと。
- ②国によって事情が違うが、各国で起業させてもらっていること、
- ③現地の方をリスペクトすること。結果、それが業績伸張につながっているとのこと。

【パネルディスカッション2 ベトナムビジネスの難しさと成功の秘訣】



(登壇者)

ベトナムファミリーマート代表 小暮剛彦氏

味の素ベトナム代表 本橋弘治氏

エースコックベトナム代表 梶原潤一氏

ドリームインキュベーターベトナム代表 細野恭平氏

(モデレーター)

NIHON SINGAPORE PTE LTD 関泰二氏

「ベトナムビジネスの難しさと成功の秘訣」と題して、日本を代表する大手企業の現地法人代表4名より実体験に基づいた成功事例、失敗事例等をお話頂いた。

- ①ベトナムの独自の市場（伝統的な小売市場、近代的な小売市場）からみる購買行動やマーケティングについて
 - ②外資企業で働くことが一般的でないベトナムでの人材活用について
 - ③パートナーや政府、JV（合弁会社）との友好関係の構築の仕方などについて
- 最後に、これからベトナム進出を検討されている方へのメッセージを述べられ、終了した。

【午前の部終了にあたっての中締め挨拶 JNB会長池田弘氏】



【講演会】

世界で活躍する経営者による分科会がセミナールーム毎に分かれて開催された。

講師：徳重 徹氏 アジアで戦うための マインドセット

講師：吉田 浩一郎氏 市場と仲間の選び方 ～1億の赤字と役員との離反を経験して～

講師：西澤 亮一氏 英語ゼロから3年、海外11拠点展開への道のり

講師：中村 壮秀氏 / 重松 大輔氏 ソーシャルテクノロジーで戦う、ASEAN市場戦略

講師：細野 恭平氏 すぐ儲からないが進出するのなら今、ベトナムビジネス最新事情

講師：加藤 順彦氏 若き日本人経営者よ、アジアのウミガメとなれ

講師：関 岳彦氏 ベトナム人材市場の現状 人材紹介の最前線から

講師：徳嶺 勝信氏 / 西村 武将氏 失敗しないベトナム不動産投資

講師：益子 陽介氏 2015 外資規制解禁、ベトナム飲食事情

【JNB・NBCと和僑会代表者による合同会議】



JNB・NBC 自己紹介後、東京 NBC 副会長で国際部門部門長 深沢栄治氏より、「和僑会と8年の歩み」と題したプレゼンテーションを、国際ビジネス委員会委員長辰野元信氏より2015年の活動報告を行った。その後、各地域和僑会代表、筒井ファウンダー、荻野会長の自己紹介があり、最後に香港和僑会事務局長堀昭則氏より、香港和僑会の現状について報告があった。

現在、起業家を育成する起業塾、起業相談室、経営相談室、和僑キャピタルを実施しているとのこと。東京 NBC でも、長年継続している寺子屋かいぎを踏まえ、来年度起業家育成へのひとつのチャレンジとして、学生や若年サラリーマンをターゲットにした「NBC&和僑会起業塾」を共同開催してはどうか？という案が出た。

下記、会議内にあがった要望が2件あった。

- ・香川 NBC 小野会長より、香川 NBC とともに直接交流をしてほしいという提案
- ・プノンペン和僑会永田氏より、資金面で援助を受けられるプレゼンテーションの機会を設けて欲しいという提案。

【中締め挨拶 JNB会長 池田弘氏】

- 1、全国のNBC会員リストの統一（リストアップ）を2016年3月に予定。目的は異業種交流をするためのインフラをつくるため。準備が整い次第、JNB×和橋との交流ができるのではないかと提案。
- 2、国として、海外進出する人たちへの投資体制が整ってきた。ただ、既に出ている人への体制はこれからで、今は予算がないのが現状。働きかけができるところは実行していく。
- 3、資金調達のイベントとしては、全国のベンチャーが東京でプレゼンする「インデペンデントクラブ」があり、全国各地で行っている。ただ、海外に投資するファンドが集められるかは現時点で不明。国よりはNBCや諸団体の方が可能性はあるかもしれない。

【大交流会】



11月23日（月）

【現地企業視察】

Saigon Washin Engine co.ltd.（株式会社和心 現地法人）



2015年7月にNBCでご講演頂いた、株式会社和心（代表 森智宏氏）の現地法人である、Saigon Washin Engine co.ltd.を訪問。同社は、オフショアとして同社の運営するサイト（通販サイト含む）のデザイン、構築等を行っている。サイトは、欧米系ツーリストにも対応するための英語、観光客が多い台湾語、中国語、そして現地のベトナム語に対応できるよう、マルチリンガル化している。

※他社のサイト製作は、以前受諾していたが忙しすぎて今は行っていない

同社は、日本法人直営のため日本的なところもあるが、その中で特に目を引いたのは、掃除が徹底されていること。森社長曰く、韓国、タイの法人と比較すると、一番きれいなオフィスとのこと。掃除はすべて役割分担が決まっており自分たちで就業後に行っている。

ベトナムワークス



ナビコスグループ（エグゼクティブ層を対象）をエンジャパンが2013年に買収。登録者数は270万人でマーケットの7割を占めており、ベトナム1の求人サイトである。サイトの利用率は、PCよりスマホのタブレットが高い。（未だに停電があるためデスクトップはあまり利用しないとのこと）圧倒的求人数だが、首都圏を離れたところにまだニーズがあり、規模の拡大余地は残っているとのこと。

国民性の違いを感じたのは、各自の給与が掲示されオープンになっていること。また、自席の上に自身のネームが入った吊り飾りがあり、昇給したスタッフにはひと目でわかる工夫がされていた。同社の従業員数はホーチミンで270名、ハノイで100名とのこと。

2、ベトナム概要

国土 32万9,421平方キロメートル

人口 9,250万人（2014年時点）

民族 キン族（約86%）

言語 ベトナム語

宗教 仏教、カトリック、カオダイ教

政治体制 社会主義共和国

元首 チュオン・タン・サン国家主席

経済

主要産業 農林水産業、鉱業、軽工業

名目GDP 1,878億米ドル

一人当たりGDP 2,073 米ドル

実質 GDP 成長率 5.98%

物価上昇率 4.09%

失業率 2.08%

総貿易額

輸入：1,501.9 億ドル（前年対比 13.7%）

輸出：1,480.5 億ドル（前年対比 12.1%）

主要貿易品目

輸出：携帯電話・同部品、縫製品、PC・電子機器・同部品、履物、水産品等

輸入：機械設備・同部品、PC・電子機器・同部品、布地、携帯電話・同部品、鉄鋼等

主要貿易相手国

輸出 米国、中国、日本、韓国、香港

輸入 中国、韓国、日本、台湾、タイ

為替レート

1 ドル=21,673 ドン

経済状況

(1) 1989 年頃よりドイモイの成果が上がり始め、1995 年～1996 年には 9% 台の経済成長率を記録。アジア経済危機の影響から一時成長が鈍化したものの、海外直接投資の順調な増加も受けて、2000 年～2010 年の平均経済成長率は 7.26% と高成長を達成。2010 年に（低位）中所得国となった。

(2) 2011 年以降、マクロ経済安定化への取り組みに伴い、2011 年は 5.9%、2012 年は 5.2% と成長率が鈍化。2013 年は 5.4%、2014 年は 5.98% と緩やかながらも回復傾向が見られる。

(3) ベトナムは一層の市場経済化と国際経済への統合を推し進めており、2007 年 1 月、WTO に正式加盟を果たした。その後も、各国・地域との FTA/EPA 締結を進めており、TPP 交渉にも参加。他方、未成熟な投資環境、国営企業の非効率性、国内地場産業の未発達等懸念材料も残っている。

経済協力

1992年11月以降経済協力再開。日本はベトナムにとって最大の援助国。2011年度以降の円借款は2,000億円(交換公文ベース)に達している。

我が国の対越ODA供与規模・実績(単位:億円)							
年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
円借款	978.53	832.01	1,456.13	865.68	2,700.38	2,029.26	2,019.85
無償資金協力	21.19	26.63	35.46	35.46	55.2	17.1	8.24
技術協力	51.98	59.65	61.42	71.52	104.86	85.15	82.71

(ア)貿易額

対日輸入 147.0 億ドル(前年対比 7.7%)

対日輸出 129.1 億ドル(前年対比 11.2%)

(イ)主要品目

対日輸出 縫製品、輸送機器及び同部品、原油、機械機器・同部品、水産品

対日輸入 機械機器・同部品、電子機器・PC・同部品、鉄鋼、プラスチック製品、布地

(2)日本からの直接投資実績

約 20.5 億円(認可額)

在留邦人数

12,254 人 (2013 年 10 月現在)

在日ベトナム人数

85,449 人 (2014 年 6 月法務省登録外国人統計)

以上



一般社団法人東京ニュービジネス協議会

<http://www.nbc-world.net/>

107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28 ユニゾ赤坂一丁目ビル 7F

TEL : 03-3584-6080 FAX : 03-3584-6081

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会

<http://www.nbc-japan.net/>

107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28 ユニゾ赤坂一丁目ビル 7F

TEL : 03-3584-6077 FAX : 03-3584-6081